

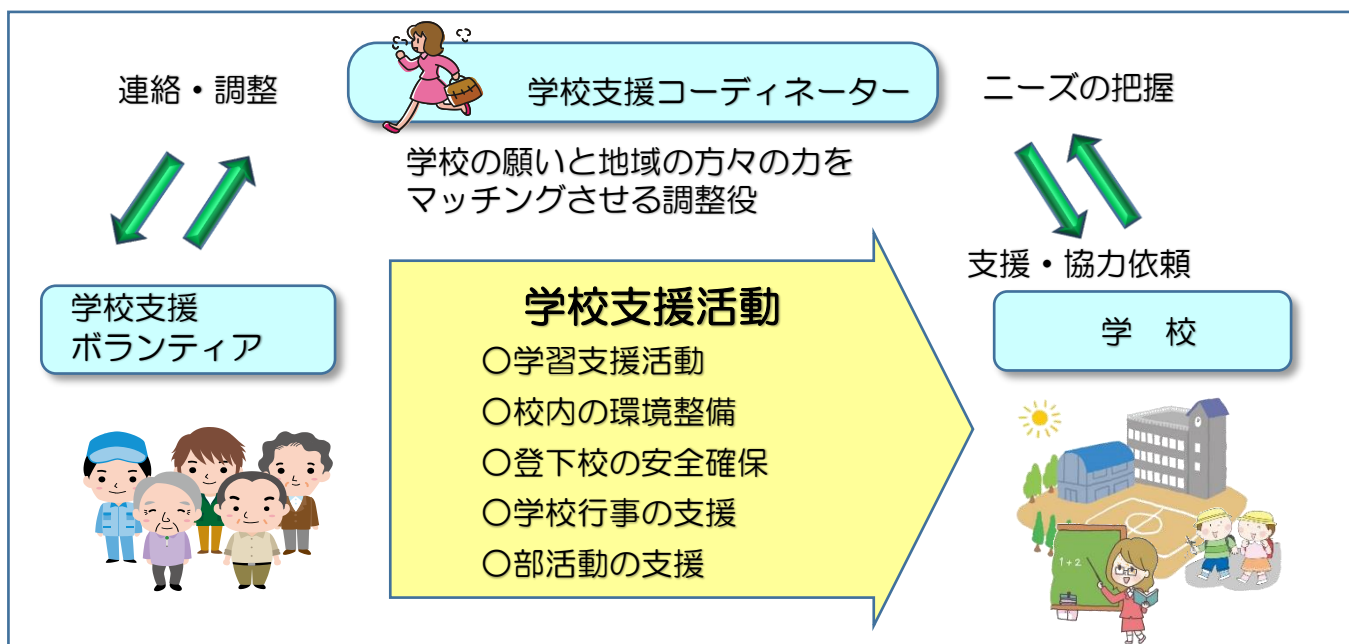
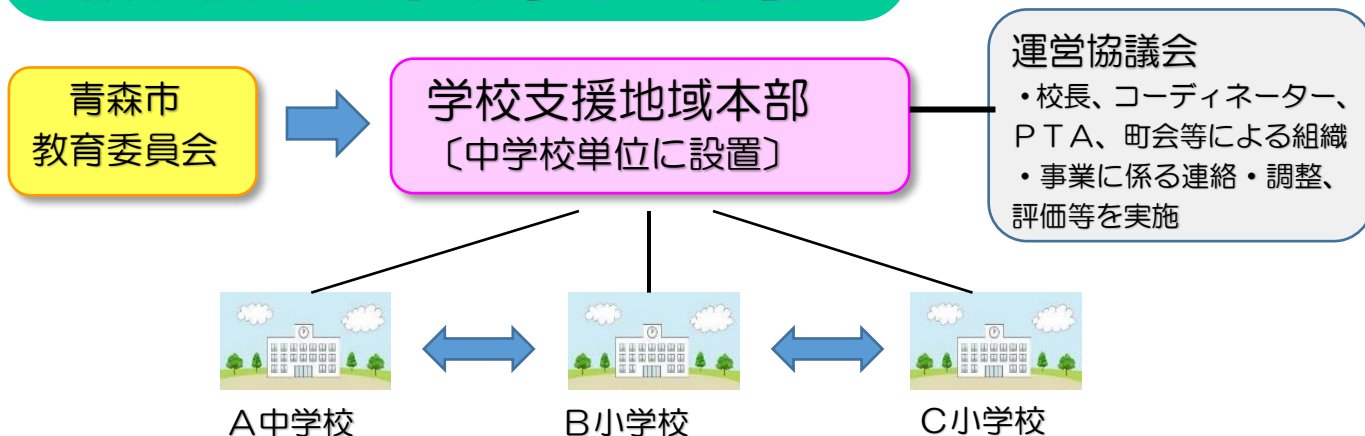


発行：青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
〒030-0801 青森市新町一丁目3-7
TEL：017-781-1376 FAX：017-718-1371
E-mail：bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

もっと活用しよう もっと参加しよう 学校の応援団

学校支援本部事業を開始してから11年目となりました。学校のために地域の方々が色々なボランティアの輪を広げています。どんな活動をしているのか、どんな成果が見られているのか、情報誌「てとて」第25号は特別版でご紹介します。

学校支援地域本部事業の仕組み



この事業は、学校が必要とする活動について、地域の方々がボランティアとして学校を支援するための組織です。いわば地域につくられた**学校応援団**といえます。

こんな学校支援活動がおこなわれています

◆教育活動への支援

学習支援 ゲストティーチャーとして

各種出前授業(環境・科学・ネット安全・音楽)

栄養教諭による食育、水泳・スキー指導、職業体験の講師、

版画指導、点字学習、放課後学習

学習アシスタントとして

校外学習の引率、家庭科実習の補助(ミシン・調理)、クラブ活動補助、総合的な学習の時間の補助(稲作体験など)、

生活科学習補助(むかしの遊びなど)、特別活動の補助(児童集会など)、

学校行事協力、ドリルの丸付け



パソコン学習の指導補助



ねぶた集会のお囃子ボランティア



編み物クラブの指導補助



1年生の下校指導補助

◆環境整備への支援

読み聞かせ、図書室の整備、図書修理、図書バーコード入力、

花壇整備、畑のうねづくり、包丁とぎ、ペンキ塗り、

プール清掃協力、除雪活動協力、施設整備(壁面修理、装飾など)、

給食メニュー入力

◆安全確保への支援

登下校安全見まもり、交通安全教室補助、安全パトロール、

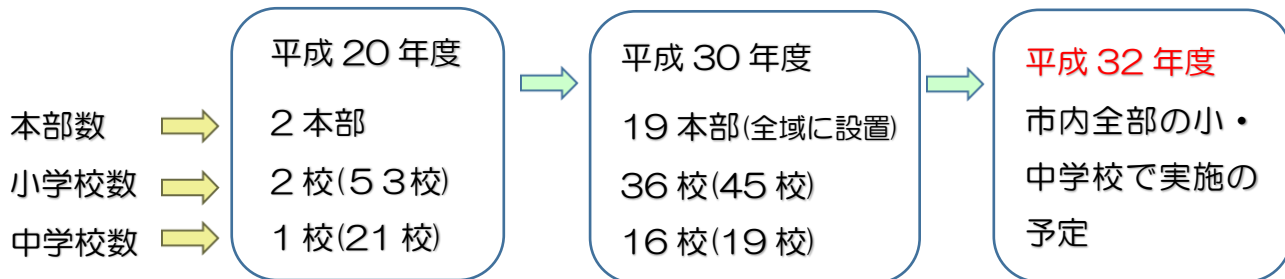
参観日の児童あづかり補助

◆部活動への支援

部活動の指導補助・活動見守り、児童生徒の引率補助

事業実施の状況(本部数及び実施校数の推移)

()は、市内の学校数



10年間で、小・中学校合わせて8割以上の学校で、学校支援本部事業が行われるようになりました。

学校支援地域本部事業の三つの効果

学校の教育力アップ

- 子どもたちの経験・体験が増え、多様な授業展開につながっています。
- 授業にゲストティーチャーを活用することで専門的な知識や技能を身につけさせ、学習意欲を喚起することにつながっています。
- 活動の効率化が図られ、個に応じたきめ細やかな指導に役立ちます。
- 地域住民との触れ合いを通し、規範意識やコミュニケーション能力の向上につながっています。
- 登下校時や校外での活動において、安心・安全の確保につながっています。



地域の教育力アップ

- 地域住民自らの経験や知識を学校教育に生かすことができ、自己実現や生きがいにつながります。
- 地域住民同士のコミュニケーションが深まり、地域の活性化につながります。

地域のネットワークカアップ

- より多くの地域住民が学校教育にかかわることで、学校と地域の相互理解を深めることにつながります。
- 学校を核とし、地域全体で子どもを育てる体制づくりにつながります。



重要な役目を担う、コーディネーター

この事業で重要な「担い手」となる人が、学校支援コーディネーターです。地域と学校との連絡調整、情報の共有、学校支援活動の企画・整理等を行い、互いがパートナーとして、活動することができるよう働きかけることが、大きな役目です。定期的に研修や情報交換を行う他、日頃から先生方と相談する時間を多くしたり、地域にある素材についての情報を得ておくことが一層求められています。

地域のいろいろな大人が教育活動にかかわることで「生きる」力をはぐくんでいます。

地域ぐるみで子どもを育てる体制の広がり

これまでに、各学校で取り入れている学校支援活動の中で、一番多く見られる活動は、「図書室の環境整備」「読み聞かせ」「登下校の安全見守り」などです。

近年の傾向としては、家庭科の実習や体育の実技等の各教科の指導補助、校外学習における安全確保に向けた引率補助の他、キャリア教育の一つの活動として行われている専門家による出前授業など、活用の仕方の幅の広がりが見られるようになってきています。

今後は、「支援」ととどまらず、幅広い地域住民の協力を得て、地域と学校が相互にパートナーとして「連携・協働」して行う活動を充実させていくことが重要となってきます。「地域に開かれた信頼される学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両視点に立って、子どもの学びや成長を支えていくことが大切です。



図書の貸し出しを、児童とともに
おこなう学校支援ボランティア

学校が本事業をうまく活用するために

学校はどのような支援があれば、教育活動がより一層充実し、子どもの育成につながるか、学校支援コーディネーターに具体的なニーズを示すことが大切です。

学校支援には、「学習のための支援」「校内外の環境整備のための支援」「登下校の安全確保のための支援」「部活動の支援」などいろいろあります。

学習支援を例にとってみても、学習支援ボランティアを、

- ・学習アシスタントとして活用するのか、専門家の方を指導者として活用するのか。
- ・一時間の授業全部に活用するのか、部分的に活用するのか。
- ・一つの単元を構成する上でどこに位置づけて活用するのか。
- ・年間を通して活用するのか、期間限定で活用するのか。

などいろいろな方法が考えられます。そのためにも、学校支援コーディネーターと相談する時間を多くし、その機能を十分生かすようにしていくことが大切です。

待っています、学校の応援団

学校支援ボランティアは、教育活動やボランティアに感心のある方であればどなたでも参加できます。学校は、「子どもたちのために!」という地域の方の熱い思いを待っています。自分の得意や特技を生かしてみませんか? ご連絡を待っています。

お問い合わせ先：青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課

〒030-0801 青森市新町1丁目3-7

TEL：017-718-1376 FAX：017-718-1371

E-mail：bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp